

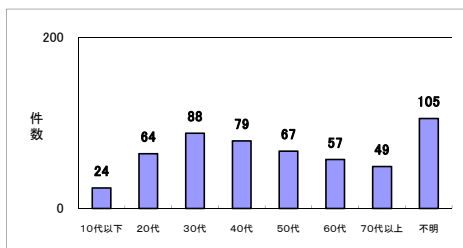
平成23年4月分の消費生活相談の概況

- 4月の相談件数は、533件で〈表1〉のとおりです。前年同月(706件)と比べ、173件の減少です。
- 総相談件数533件のうち、「不当請求」と判断される相談は146件で、前年同月(149件)と比べ、3件の減少です。
- 契約者の年代別相談件数は、〈図1〉のとおりです。30代が一番多く88件、以下40代79件、50代67件の順です。
- 相談の多かった商品・サービスは、〈表2〉のとおりです。第1位は「インターネット情報」で、以下「消費者金融(サラ金)」、「商品一般」、「不動産貸借」、「四輪自動車」となっています。

〈表1〉

区分	総相談件数			販売購入形態別相談件数								危害・危険		不当請求	
	件数	うち 苦情相談		店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マル チまがい	電話勧誘 販売	ネガティ ブ・オブ ション	その他 無店舗	不明・無関係	危害	危険	うち架 空請求	
4月	件数	533	501	132	41	162	6	30	1	5	156	2	2	146	11
	構成比 (%)	100.0	94.0	24.8	7.7	30.4	1.1	5.6	0.2	0.9	29.3				
累計	件数	533	501	132	41	162	6	30	1	5	156	2	2	146	11
前年同月	件数	706	659	201	67	183	4	46	1	4	200	4	5	149	23

〈図1〉年代別相談件数



〈表2〉商品・サービス上位5品目

順位	商品名等	件数	主な内容
1	インターネット情報	122	アダルト情報サイト、出会い系サイトなど
2	消費者金融(サラ金)	37	消費者ローン
3	商品一般	25	特定できない商品(架空請求ハガキなど)
4	不動産貸借	21	賃貸アパート、借家など
5	四輪自動車	17	普通自動車、軽自動車など

お知らせ

… 平成22年度 多重債務に関する相談状況 …

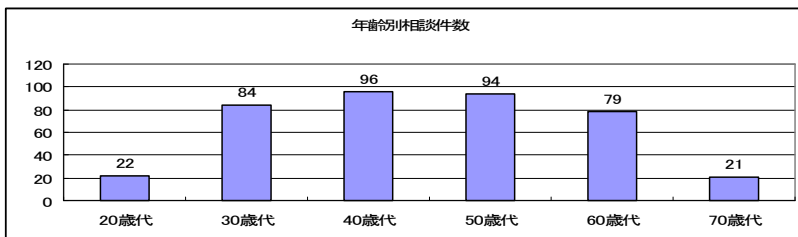
(1) 年度別相談件数の推移

- 前年度に比べ、相談件数は2割増加
- 増加の原因は、各種情報媒体を通じたPRや富士の経営破綻の影響等が考えられます。

年度	H20	①H21	②H22	前年比②/①
消費者金融	675	567	741	+31%
多重債務	509	516	639	+24%

(2) 年代別相談件数

- 30歳代から60歳代と幅広い。高齢者からの相談も多くなっている。



(3) 今後の課題

- ~まだまだどこに相談していいかわからない人、相談を迷っている人が多い~
- 多様な媒体を通じた周知
- 地方公共団体内や関係機関との連携

6月は

**多重債務相談
強化月間**です

6月16日(木)、17日(金)

多重債務相談110番

◆一人で悩まず、
すぐに相談しましょう

新潟県消費生活センターの来所相談は予約制です。まず、電話でご相談下さい。相談電話 025-285-4196